働き、祈り、学ぶ、夜間の神学校

学校案内
2027

学校法人 聖経学園

日本聖書神学校

Japan Biblical Theological Seminary

創立80周年













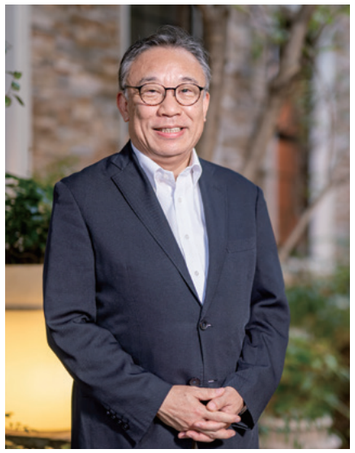








日本聖書神学校は福音主義キリスト教の立場に立ち、
主の教会の委託を受けて、聖書に基づき、深い信仰と、
誠実かつ熱心な神学研鑽、歴史的現実への洞察と
他者に共感できる感性を兼ね備えた、
福音宣教への召命に応えようとする伝道者を
養成することを目的としています。



校長　神保 望

召命に応えようとしているあなたへ

「私に付いて来なさい。人間をとる漁師にしよう。」（マルコ 1 章 17 節）
キリスト者の誰もが神により等しく召されています。召されるとは神に招かれることであり、神の国へ招き入れられる希望をもって福音の種を蒔く伝道者が求められます。本校では夜間の授業によって単位を取得しますので、入学後も社会人としての働きを継続しつつ日本基督教団はじめいくつかの教派の教師試験受験資格を得ることが出来ます。神学生の年齢も経歴も多岐に渡るため、「学生と教師の見分けがつきにくい」と言われることがあります。ご入学後は、学生と教師の垣根を越えた交流も楽しみの一つとなることでしょう。主イエスの招きの御言葉を聞いてすぐに網を捨てて従った弟子たちの如く、召命に応えて生きようと決断された方々が入学されるのを心待ちにしています。



教授

柳下明子
キリスト教史 I 、II、ほか

荒瀬牧彦
礼拝学、教会音楽、ほか

菅原裕治
ギリシア語、新約学ゼミ、ほか

神保 望
ビーベルクンデ、宣教学、ほか

水谷 勤
新約概論、新約神学 I 、ほか

小林祥人
旧約釈義 I 、II

細井茂徳
組織神学、キリスト教教理史、ほか

履修課目

分野	全学年共通	基礎学			神学				総合演習 「キリスト教信仰と人間の尊厳－神学と教会での実践をつなぐために」
		聖書	神学	語学	聖書神学	歴史神学	組織神学	実践神学	
1年	礼拝 フィールドワーク（教会実習） 器楽*	ビーベルクンデ 新約概論 旧約概論 ギリシア語 新約時代史* 旧約時代史*	基礎文章理論 神学概論 キリスト教と文学*	英書講読		キリスト教史Ⅰ		キリスト教教育Ⅰ	総合演習Ⅰ 「聖書の読み方」
2年	**全校共通総合演習** ハラスメント防止講座 ソーシャルワーク講座 牧会的ケアワークショップ 講演会 など	ヘブル語		英書講読	新約神学Ⅰ 新約原典講読* 新約釈義Ⅰ 旧約神学Ⅰ 旧約釈義	キリスト教史Ⅱ 日本キリスト教史 日本宗教史	神学思想史Ⅰ 組織神学	説教学 キリスト教教育Ⅱ	総合演習Ⅱ 「現場実習」
3年				ドイツ語* ラテン語* （1～4年）	新約神学Ⅱ 新約釈義Ⅱ 旧約神学Ⅱ 旧約原典講読*	アジアキリスト教史 キリスト教教理史	神学思想史Ⅱ キリスト教倫理	宣教学 礼拝学 説教演習Ⅰ 牧会学 教会音楽	総合演習Ⅲ 「教会の職務と実際」
4年					新約学ゼミ* 旧約学ゼミ*	歴史神学ゼミ*	組織神学ゼミ*	実践神学ゼミ* 説教演習Ⅱ 牧会カウンセリング	総合演習Ⅳ 「教会と国家、沖縄と教会、セクシュアリティー論など」
					卒業論文				

聖書を原語で読む学びが充実しています

時代が求める、多様な課題に備える学びをしています

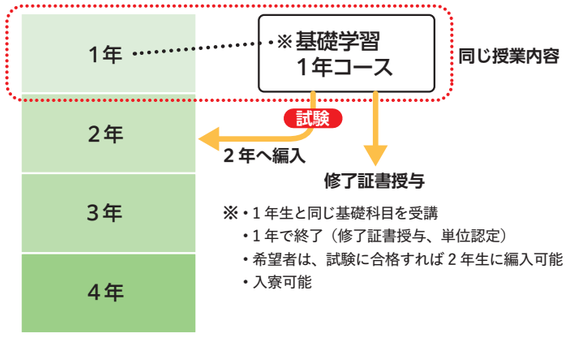
＊印は選択および選択必修科目
ドイツ語*、ラテン語*、日本キリスト教史特講*、アメリカキリスト教史特講*、精神医学特講は、隔年で開講します。
※記載している内容は 2026 年度のものであり、2027 年度は変更になる場合があります。

時間割

日	月・金	火・水・木
礼拝 実習教会での フィールドワーク	【1限】（礼拝） 18：00 ～ 18：45 【2限】 18：50 ～ 20：20 【3限】 20：30 ～ 22：00	【1限】 18：15 ～ 19：45 【2限】 19：55 ～ 21：25

- 月～金に各 2 コマの授業と、月曜日・金曜日に全校礼拝があります。神学生が説教や司式等を担当します。
- 前期（4 月～ 7 月）・後期（9 月～ 1 月）のセメスター制となっています。
- 日曜日はそれぞれの実習教会において、実習教会牧師の指導のもとフィールドワークを行います。

基礎学習 1年コース（基礎科）



※・1年生と同じ基礎科目を受講
・1年で終了（修了証書授与、単位認定）
・希望者は、試験に合格すれば 2 年生に編入可能
・入寮可能

聴講

教会に仕えるために神学校で学ぶ志を抱きつつ、正科生としてすぐには入学する諸条件が整わない方には、聴講をお勧めいたします。先ずは 1 ないし数科目を受講して、将来への可能性を探ってみませんか？

オンライン聖書語学講座

東京から離れた地域にある教会のニーズに応え、教室でのギリシア語およびヘブル語授業のオンライン参加を受け入れています。クラスの運営上、若干名の定員となります。

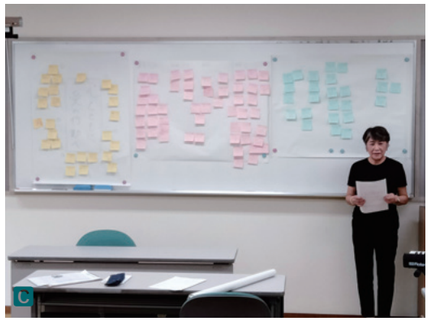
学校生活


A


D


E


B


C


F


G

A 礼拝：毎週、月曜日と金曜日に行われます
B C 全校修養会：準備と発表
D 授業の様子：授業ごとに特色ある講義が行われます
E リモート併用のゼミ：大きなスクリーンを用いてハイブリッドで授業を行います
F 全校修養会：野外礼拝の様子
G 卒業式

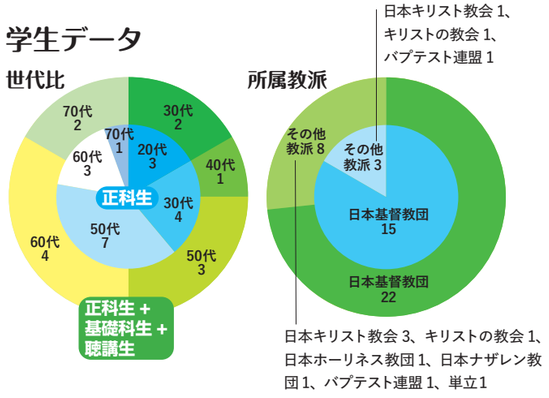
1年間の学校行事

4月	入学・始業礼拝、学生自治会総会
5月	創立記念の集い
6月	ペンテコステ立証祈祷会
7月	前期試験
	献身志願者の集い
8月	夏期伝道実習
9月	前期レポート提出
	後期授業開始
10月	全校修養会
11月	授業体験週間
12月	クリスマス礼拝
1月	後期授業終了
2月	卒業論文発表会
	後期レポート提出
3月	卒業礼拝



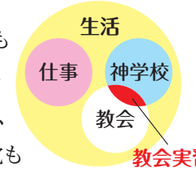


学生データ



教会実習

在学中は所属教会以外の教会においても実習を行い、将来の働きに備えます。出身教会と異なる教会との出会いを通して、実践的な面のみならず召命に対する自覚も新たにされ、多くの祈りに支えられる恵みを経験します。



在校生



「主の招きに従う一歩」 木村晋治 1年

神学校の職員として 10 年以上歩ませていただいたことを、心から感謝しています。しかしこのたび、教会員の高齢化や減少、牧師・神学生の減少など、日本の教会が直面している困難を思うとき、これまでとは異なるかたちで神さまのお役に立てる道があるのではないかとの思いが与えられ、入学いたしました。不安もありますが、聖書には戸惑いながらも神の召しに応えて歩んだ人々の姿が記されています。また神さまは、弱さを抱えたさまざまな人々をこの神学校に招き、学びを支え、遣わしてこられました。みなさんも、主の招きに応えて、神学校の門をくぐってみませんか。



「神学校の七不思議?!」 吉岡 恵 2年

59 才まで、全く考えたことのなかった「牧師への道」を今こうして歩んでいるのが、不思議でなりません。こんな遅咲きの私を、天国から両親と夫が「なぜ今ごろ？」と不思議がって、激励をとばしていると思います。週 30 時間仕事をこなし、土曜日は予習・復習に追われ辛いのですが、それでも授業は不思議と楽しいです。人間は興味のあること、新しいことを学ぶと、アドレナリンが出て、不思議にがんばれるようです。何才になっても！全て神さまの恵みの七不思議なのですね。



「すべてが備えられた恵みの日々」 瀬尾真結 4年

日本聖書神学校で過ごしたこの３年半、振り返ってみればなんと恵みに満ちた日々だったことか、と強く実感しています。入学する前、私は神学の知識も社会人経験も乏しく、牧会者としてやっていけるのだろうかと不安を抱いておりました。しかし日本聖書神学校では、理論的な神学の学びから実践的な内容まで網羅的に学ぶことができた他、学外での学びや奉仕の機会も多く、教会、そして社会において働くキリストの恵みを肌で感じます。学校での学びが社会に結びついていく瞬間を体感する機会を数多く与えられました。その出会いと経験のすべてが今の私の支えとなっています。すべてを備えてくださった主の御導きを心から感謝しています。





「新たなる人生」のはじまり 西 宏海 3年

神学校に入学してからというもの、様々な場所・人・出来事との出会いが続き、これまでの人生とは全く異なる「新たなる人生」を歩んでいることに本当に驚きます。平日夜間に学ぶこの学校は、高度で専門的な神学を学ぶ場であると共に、教会実習や様々なフィールドでの実践を通じて、将来牧会者となるのに必要な経験を確実に積ませてくれる場です。特に私が感じているのは、学内・学外で行われる活動に、「主体ある者」として積極的に参与していくことの大切さ、言い換えるならば「生きる」ことの大切さです。「信じる」ことには必ず「行い」が伴います。神様の招きに「応答する」者として、今後の牧会者としての人生を歩んでいきたいものです。これからの未来を思うと、期待に胸が膨らむばかりです。

卒業生



神さまはなんとオツなことをなさるんだろう！

陣内大蔵　　日本キリスト教団東美教会牧師　2006 年度卒

現在、東京都武蔵野市にある東美教会で牧会をしながら東洋英和女学院小学部にてチャプレンとして勤めています。元々シンガーソングライターとして長年活動をしてきたのでチャーチコンサートもライフワークとして続行中。「神さまはなんとオツなことをなさるんだろう！」今まで何度も呟いてきたセリフです。神さまが私たち一人一人をお用いになる時、もうそれは想像を遥かに超える方法でなさいます。それになんとか応えようといつも頑張っています。神さまはあなたをどうお用いになろうとしているのか？ とても楽しみですね！

イエス様に背中を押されて

湊 理恵　　日本キリスト教団野辺地教会牧師　2022 年度卒

神学校に入るまでは長野県に住んでいたので、神学生に会う機会も少なく、神学校を見学したこともありませんでした。しかし「献身志願者の集い」に参加したことで最初の扉が開かれました。そして次の扉が開かれ、JBTS に入学し、先生方、在校生、同級生との出会いが与えられました。イエス様に背中を押されて、今は青森県の野辺地教会にてその務めに励んでいます。卒業後も先生方には折に触れてご指導いただき、同級生と支え合って学びを続けています。学校案内を手にされた皆さんは、もうイエス様に背中を押されていると思います。扉は一つずつ開かれます。



あの日があって今がある

島田敬子　　日本キリスト教団長浦教会牧師　2001 年度卒

52 歳の春に入学して４年間は、何と早く過ぎたことでしょう。御言葉を探求し、祈りを献げ、師や友から多くのことを学びました。それは主が「御手の陰に置き、矢筒の中に隠して」（イザヤ書 49 章２節）導き育てて下さった掛け替えのない日々でした。卒業後開拓伝道へと導かれ 23 年になりますが、あの日があって、今があります。いつしか神さまの教会に仕えることの喜びを知る者とされました。日本聖書神学校で得たさまざまな経験がその後の歩みに生かされ用いられていることを感謝します。「恵みの業をもたらす種を蒔け」（ホセア書 10 章 12 節）と励んでいます。





「神は共におられる」を実感します

青山 実　　日本キリスト教団名瀬教会牧師　1999 年度卒

奄美大島にある名瀬教会の牧師です。週３日は奄美大島南部にある瀬戸内教会かな保育園で事務担当の副園長をしています。今年度は、隣島、喜界教会の代務者として月１度、１泊２日の出張もしています。奄美の島々に点在している各教会の宣教と共にありたいと願いつつ歩みを重ねてきました。島に生きる人々と苦労を分かち合う中で、「神は共におられる」を実感します。日本聖書神学校は「働きながら夜学ぶ」神学校。夜はいつも疲れていて自称「寝学コース」でした。でもあの４年間の出会いと学びの経験に今も支えられています。

講師

各分野における第一線の研究者・牧師から密度の濃い学びをすることができます。

相田南穂子 器楽、礼拝奏楽	**安倍愛樹** キリスト教教育 II	**飯郷友康** ヘブル語、旧約原典講読	**大石周平** 旧約概論	**大久保正禎** 日本キリスト教史
大塩 光 牧会カウンセリング	**勝本正實** 日本宗教史	**金井美彦** 旧約時代史、旧約神学 II	**河野克也** 新約釈義 I	**河野和雄** 器楽、讃美歌練習、礼拝奏楽
佐々木潤 神学概論	**柴崎 聰** キリスト教と文学	**朱 海燕** アジアキリスト教史	**高梨愛子** 精神医学特講	**高浪晋一** 教会音楽
土肥研一 キリスト教教育 I、 説教演習 I	**原口尚彰** 新約原典講読	**深津容伸** 旧約神学 I	**福嶋 揚** 神学思想史 II、 キリスト教倫理	**古谷正仁** 総合演習III（教会の職務と実際）、 説教学
本多峰子 神学思想史 I	**宮城 献** アメリカキリスト教史特講	**山野貴彦** 新約時代史、新約神学 II、 新約釈義 II	**吉岡光人** 牧会学	**藤崎義宣** スクールカウンセラー

学生寮

正科生・基礎科生は入寮できます。単身寮は個室で、ベッド・机・本棚・クローゼット備え付け、WiFi 完備です。トイレ・浴室、洗濯機・乾燥機、冷蔵庫は共用です。1 階に厨房と食堂があり、自炊できます。この他、家族寮が 3 世帯分あり。寮会や祈祷会等を通し、共同生活の恵みを経験できます。



図書館





キリスト教関係を中心とする約 4 万冊（和書:約 25,000 冊、洋書:約 15,000 冊）の蔵書と、352 タイトルの逐次刊行物が、1 階の開架書庫と地下の閉架書庫に備えられており、神学生の学びを支えています。特に、聖書学の文献は充実しており、キリスト教界全体に貢献するものとなっています。

学校情報



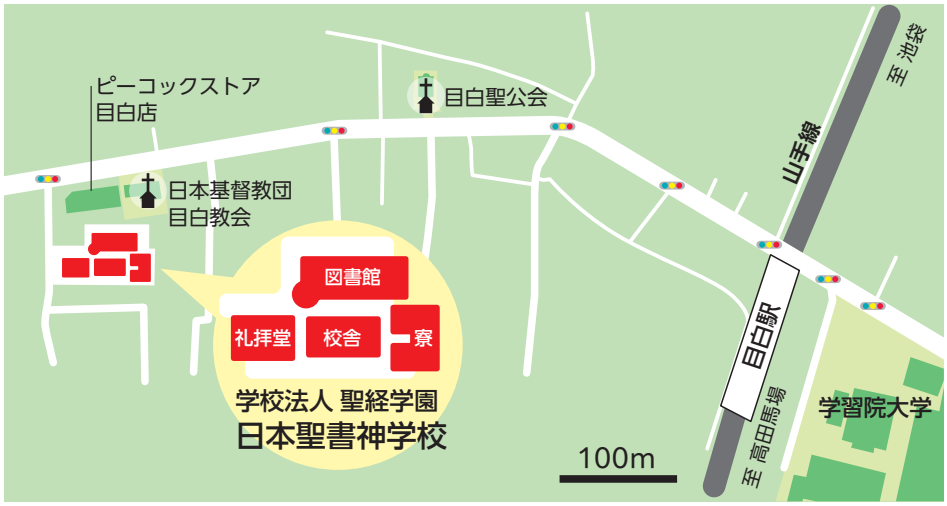
正門



校舎



礼拝堂



本校は第二次世界大戦後の 1946 年 5 月に「日本の新生と世界平和の基礎はキリストの福音宣教にある」との決意を与えられた牧師たちの篤い祈りと主の導きによって設立されました。現在までの卒業生は 775 名を数え、そのうち約 450 名が教会、キリスト教教育、社会事業などの現場で活躍しています。本年、創立 80 周年を迎えました。

〒 161-0033 東京都新宿区下落合 3-14-16
学校法人 聖経学園 **日本聖書神学校**
日本基督教団認可神学校
Tel: 03-3951-1101
Fax: 03-3951-3044
E メール：jbts@jbts.ac.jp
◀ http://www.jbts.ac.jp/